

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	酒々井町家庭教育支援チーム (呼称:酒々井町家庭教育支援チーム)
②活動拠点	酒々井町中央公民館
③活動範囲	酒々井町全域
④組織体制	7 人 (家庭教育指導員1名、子ども家庭支援員1名、子育て支援センター職員1名、保健師1名、子育て支援担当職員1名、家庭教育担当職員1名、福祉担当職員1名)
⑤活動開始年度	令和4年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 酒々井町教育委員会生涯学習課 (TEL)043-496-5334 (E-mail)syougaku@town.shisui.chiba.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒保護者等への学びの場の提供 ☒保護者等への地域の居場所づくり ☒アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒乳幼児 ☒小学生(低学年) ☒小学生(中学年) ☒小学生(高学年) ☒中学生 ☐高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ＜保護者向け講座の実施、運営補助＞ ・小中学校と連携して、家庭教育学級の講座を積極的にサポートしている。 ・子育て支援センターと連携して、修学前の子どもがいる保護者を対象にした講座を実施している。 ・家庭教育以外の事業と連携して、保護者向け講座を実施している。 ＜情報提供＞ ・家庭教育だより等を作成して、小中学校を通じて保護者に配付し、家庭教育に必要な知識と届けている。 ・保護者が集まる施設と連携して、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発物資を保護者に配付している。 ＜アウトリーチ＞ ・小学校の就学前検診や教育ミニ集会に出向いて、講話を行っている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・団体同士の連携や事業同士の連携が進み、大人と子どもがともに活動したり学んだりする場が増えた。大人と子どもがともにという状況は、大人にとっては日常の子育てをふり返るきっかけになり、子どもにとってはコミュニケーションを学ぶ効果がある。 ・団体同士の連携により、保護者の居場所づくりも学びの場の創出も充実した。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()